

令和4年度 入学式 式辞

さわやかな海風がふく、柔らかな春の日差しのもと、皆様と共に入学式を挙行できますことに、大きな喜びを感じております。

123名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。皆さんの元気な返事、生き生きと輝く目を見て、とても嬉しく思います。これから、皆さんと一緒に、この小名浜第二中学校での生活をスタートしましょう。

私は校長として、小名浜第二中学校をどのような学校にしていくのか、1つ目標を立てています。それは、「活気のある学校を創りたい」ということです。みなさん一人一人が活躍できる学校にするために、いろいろと考え、実践していきたいと思えます。学校の主役はみなさん、一人一人です。

そこで、中学校で生活するうえで、大切なことをみなさんに伝えたいと思えます。

まず1つめは、「聴くこと」です。学習はもちろんのこと、数々の活動には、必ず、たどり着きたい目標があり、その実現に向けての方法があります。そのことについて、先生や先輩方は、丁寧にみなさんにお話をしてください。まずは、しっかりと聴くことと、それを受け入れてみる、心と姿勢を養いましょう。

2つめは「自分の考えを持つ」ということです。聴いたことを、自分の言葉にもう一度組み立て直し、じっくりと考えてみましょう。このことを続けることによって、学習は教えられるものではなく、自分から獲得するものだ、ということへ発展していくと思えます。そして「自分の考え」を、先生方や先輩方、友達に伝えてください。間違ってもだいじょうぶです。「聴いて受け入れる」ことからスタートしているみなさんなので、直しながら、より深い考えにたどり着けると思えます。

3つめは「チャレンジすること」です。できるようになった、と実感する時、みなさんの顔は輝き、全身に力がみなぎるような感じを経験することができると思えます。そのために、小名浜第二中学校では、みなさんを励まし、導いていきます。

保護者の皆様、お子様の入学おめでとうございます。中学校の3年間は、感性が豊かであるとと

もに、大変不安定な時期でもあります。だからこそ、たくさんの方のことを吸収し、心身共に成長著しい時を迎えます。このときに、しっかりと生きる力の基礎を養いたいと思えます。生徒たちがそれぞれの目標の実現に向けてたくましく歩んでいけるよう、保護者の方々と連携しながら進めて参りますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

震災から 11 年、世の中は様々な変化を遂げています。その中で、次世代を担う人として、何をなすべきか、どのような力を身に付けるのか、考え、実践していくことが必要です。また、新型コロナウイルス感染拡大防止に向けても、生徒たちの安全確保のために、適切な対応を続けることはもちろんのこと、できることを工夫しながら進めていきたいと思えます。

結びに、小名浜第二中学校に学ぶ生徒たちが安心して生活できるよう、教職員一同、真摯に支援・指導することをお誓いし、式辞といたします。

令和 4 年 4 月 6 日

いわき市立小名浜第二中学校長 新家 弘久